



東風

〇月〇日

教育目標

『明るく伸びる子』

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子
○じょうぶな子

【経営の重点】

「なりたい」を支える学校

～成長・感謝・希望～

令和8年1月30日発行 第11号

「岩内東小学校の歩みを胸に、新しい学びのステージへ」

教頭 見上 穣

21日間の冬休みが終わり、子どもたちの元気な声が校舎に戻ってきました。

さて、岩内東小学校は本年3月をもって閉校し、長い歴史に一区切りを迎えることとなります。これまで本校を支えてくださった多くの方々の思いが積み重なり、今日の岩内東小学校が形づくりられてきました。行事で見せる子どもたちの輝く表情、休み時間の元気な声、友だちと力を合わせて頑張る姿……。その一つひとつが本校の歴史を彩り、私自身も教頭としてその時間をともにできたことに幸せを感じています。

閉校を迎えることは、子どもたちにとって大きな節目となります。子どもたちは、新しい校舎で新しい友だちと出会い、新しいことを学ぶ楽しさに胸をふくらませていることでしょう。一方で、これまで慣れ親しんできた校舎を離れることに、不安や寂しさを感じている子どももいることでしょう。しかし、岩内東小学校で過ごした日々の中で、子どもたちは多くの経験を積み重ねてきました。困っている友だちを助ける優しさ、仲間と力を合わせてやり遂げた様々な行事での達成感……。こうした「東小で培った力」は、岩内中央学園の生活において、大きな支えとなるはずです。

冬休み明けの全校集会では、校長先生から子どもたちに向けて「どんな自分になりたいですか?」という問い合わせとともに、4つの大切なお話をありました。

1点目は、「自分から元気よく、礼儀正しくあいさつをする」ことです。あいさつは、人と人との心をつなぐ大切な行動です。相手を大切に思う気持ちを日々の挨拶の中で表してほしいという願いが込められています。明るいあいさつが交わされる学校は、子どもたちにとって安心できる温かい雰囲気の広がる場所となります。

2点目は、「話す人を見て、相手の気持ちを感じながら話を聞くこと」です。ただ耳で聞くだけでなく、相手の思いまで受け止める姿勢を育てていくことが、思いやりのある人間関係づくりにつながります。子どもたちが、日々の学校生活の中でこうした姿勢を身につけ、互いを尊重し合える関係を育んでいくよう、学校としても丁寧に支えてまいります。

3点目は、「授業を大切にし、課題に真剣に取り組み、解決すること」です。本校では、子どもたちが自ら学び方を選び、自己調整しながら課題に取り組む“子ども主体の授業づくり”を大切にしています。自分に合った方法で学び、学び方を調整しながら課題に向かうことで、主体性や責任感が育まれます。毎時間の学習の中で、子どもたちが「自分で選び、自分で考え、最後までやり遂げる」経験を積み重ねていくことは、自分で計画を立てて行動する力や、困難にぶつかった時に粘り強く取り組む力、そして学んだことを次の学びに生かす力へとつながります。こうした自己実現能力を育むことが、子どもたちが将来「なりたい」に向かう力になります。これからも、子どもたち一人ひとりが課題を着実に解決できるよう、授業改善に努めてまいります。

4点目は、「思いやりをもつこと。きまりや時間を守ること。助けが必要な友達に気づいたときには、優しく声をかけること」です。学校生活では、廊下を走らず安全に行動することや、時間を守って周囲の人の時間を大切にすることなど、日々の生活の中で相手を尊重する。困っている友達には温かい言葉で接し、どうするとよいか一緒に考え、支えていくて気持ちよく過ごしたいものです。子どもたちが互いの立場に心を寄せ、思いやりを行動として表していくことが、安心して過ごせる学校づくりにつながります。こうした温かい関わりが自然に生まれるよう、日々の指導を丁寧に進めてまいります。

そして最後に、校長先生から子どもたちへ伝えられたのは、「卒業式や修了式までの期間を、新しい学校や進級に向けた大切な準備の時間として過ごしてほしい」ということでした。「中央学園に行つてから頑張ろう」「明日から頑張ろう」と思うだけでは、なかなか成長にはつながりません。大切なのは、「今日から」できることを少しずつ実践し、その積み重ねを大切にしていくことです。日々の小さな努力こそが、次の学年や新しい環境での自信や力につながっていきます。学校では、子どもたちが前向きな気持ちでこの時期を過ごし、次のステップに向けて確かな準備ができるよう、引き続き丁寧に支えてまいります。

子どもたち一人ひとりの「なりたい」を支えるために、私たち教職員一同、心をひとつにして日々の教育活動に取り組んでまいります。そして、子どもたちが「東小、楽しかったね」「中央学園でも頑張ろうね」と前向きな気持ちで次のステージへ進んでいけるよう、これからも全力で支えてまいります。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

6年生 中学校1日体験入学

21日（水）に6年生が岩内第一中学校で体験入学を行いました。中学校生活への不安を和らげ、希望をもって入学できるようにすることや中一ギャップの解消することを目的としています。

当日は、中学校の先生による社会科や数学科の授業を実際に受けることで、中学校の授業の雰囲気を肌で感じることができました。

また、部活動の見学では、各部の活動の様子や大会での活躍について話を聞き、実際に体験することで、子どもたちの部活動への期待も高まつたようです。

卒業まで残り2ヶ月となりますが、中学校への心の準備、そして学習面での準備をしっかりと進め、子どもたちが安心して中央学園へ進めるよう、学校全体で支援してまいります。



5年生総合より

22日（木）に5年生の総合的な学習の時間に、岩内町役場危機管理課の鉢呂様を講師にお迎えし、岩内町の防災についてお話をいただきました。

地震や津波などの大きな災害が起こった際に、私たちがどのように避難すべきか、また、役場の方々が現場の確認や情報収集を行い、避難計画を立てながら住民をサポートしていることについて教えていただきました。

さらに、日頃から私たちができる備えとして、災害に備えて防災グッズを準備しておくことや、避難所の場所を確認しておくことなどご指導いただきました。

お忙しい中、子どもたちの学びのために時間を割いていただき、誠にありがとうございました。



引き渡し訓練

27日（火）に引き渡し訓練を実施しました。当日は天候にも恵まれ、計画通りスムーズにお子さんを保護者の皆様の元に引き渡すことができました。ご協力ありがとうございました。

この訓練は、警報の発令時や大規模な地震、熊や不審者の出没、近隣での事件発生など、さまざまな緊急事態に備え、安全にお子さんを保護者の方へ引き渡すことを目的としています。

もちろん、実際にこのような事態が起こらないことが一番ですが、万が一の際には、今回の訓練の流れをもとに迅速かつ安全な対応を行つてまいります。

お忙しい中、訓練にご参加いただきました保護者の皆さんに、心より感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの安全確保のため、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

スキー学習が始まりました

今年度も、地域の指導員の皆様や多くの保護者の皆様のご協力をいただきながら、スキー学習を実施しています。日頃より温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

今年の冬は寒さが厳しい一方で、雪質はとても良好です。安全を第一に考えながら、計画的に学習を進めています。

多くの指導者の方々にご協力いただいているおかげで、子どもたちは少人数のグループで、同じくらいの技量の仲間と一緒に学習を進めることができます。そのため、滑走の回数も多く、技術の向上につながっています。

学習後には、「上手に滑れるようになった」「もう一回滑りたい」という声が聞かれ、次回のスキー学習への意欲が高まっているようです。今後も、子どもたちが安全に、そして楽しくレベルアップできるよう取り組んでまいります。

